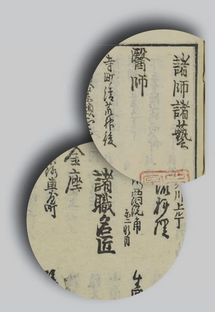
近世近代期京都を対象とした
諸職名匠・諸師諸芸のデジタルアトラス構築

Construction of a Digital Atlas of Topographic Documents and Guidebooks in the Early Modern Period and Modern Period of Kyoto

塚本 章宏（徳島大学）・矢野桂司・赤間　亮・金子貴昭・山路正憲（立命館大学）
Akihiro TSUKAMOTO（Tokushima Univ.）, Keiji YANO, Ryo AKAMA, Takaaki KANEKO, Masanori YAMAJI (Ritsumeikan Univ.)

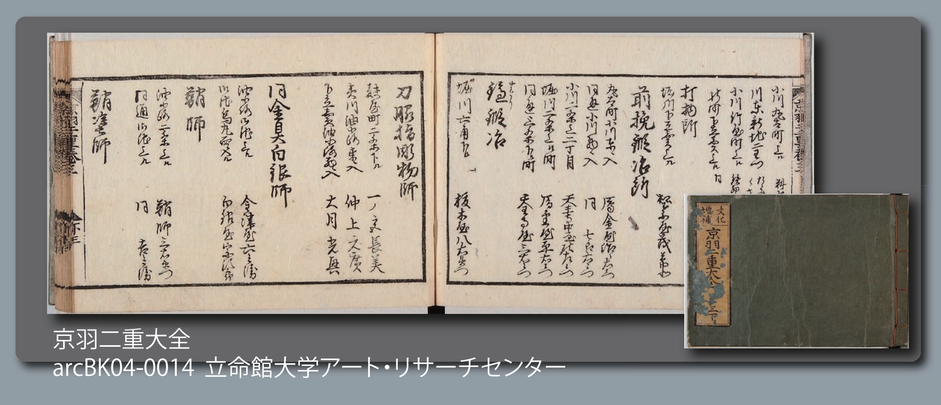


1．はじめに

近年、歴史資料のデジタルアーカイブやGISを用いた分析が進んでいる。この動向は、歴史GISと関連して、とりわけ古地図を対象とした取り組みにおいて盛んになってきている。他方、歴史学・歴史地理学・歴史GISにおける基盤資料として、古地図の他に地誌・案内記を挙げることができる。しかしながら、地誌・案内記に焦点をあてた歴史GISの取り組みは、未だ多いとは言えない。

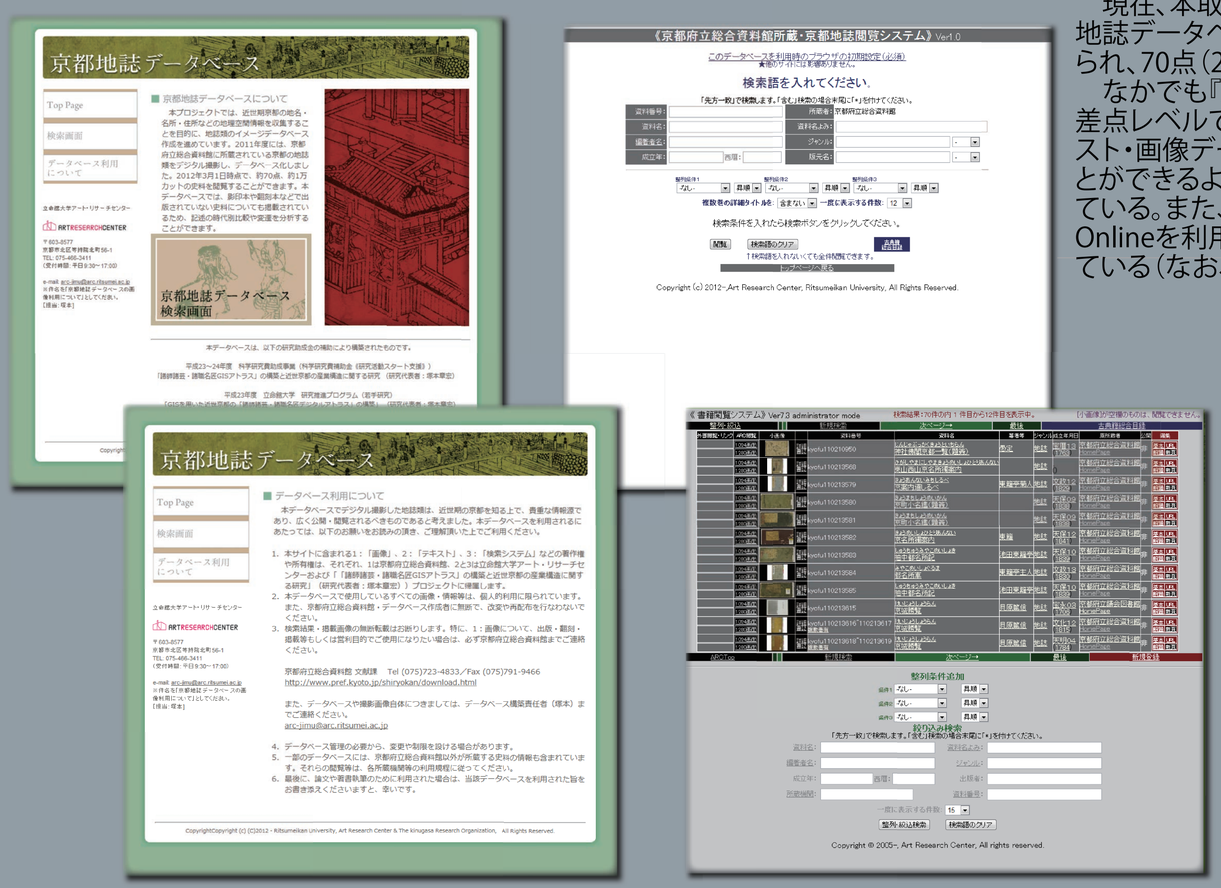
こうした背景を踏まえて、地誌・案内記を対象とした歴史GISの実践例として、近世京都における美術・工芸品・織物などの伝統文化を支えた商工業者・知識人に焦点をあてた「諸職名匠・諸師諸芸デジタルアトラス」の構築に取り組んだ。このGISデータベースの基盤となる資料は、『京羽二重』とそれに関連する地誌・案内記である。とりわけ、『京羽二重』のシリーズには、「諸師諸芸」・「諸職名匠」の項目が設けられ、当時の文化を支えた芸事の師範や伝統工芸品の商工業者の名前・住所が職種ごとに掲載されている。近世近代期の京都を代表する地誌である『京羽二重』のシリーズを、GISデータベースとして整備・構築することで、様々な産業の立地展開を時系列的にみることができるようになる。また、このGISアトラスでは、テキストと画像の2種の形式でデジタル化し、地誌・案内記に記載された商工業者・知識人の諸情報を、GISとインターネット技術を活用して閲覧することができる。

『京羽二重』のシリーズは、近世近代期の京都の産業に関する研究において、必ず参照される基礎資料であり、画像とテキストデータで整備・公開されることは、京都の産業を対象とする研究者にとっても有用なものであると考えられる。



京羽二重大全
arcBK04-0014 立命館大学アート・リサーチセンター

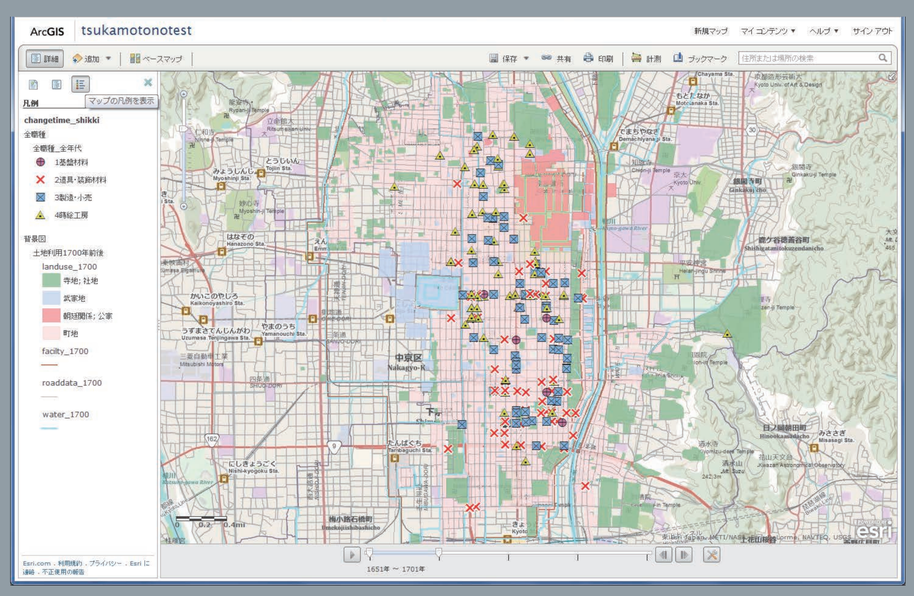
2.「諸職名匠・諸師諸芸デジタルアトラス」の概要



京都地誌データベースhttp://www.dh-jac.net/db1/books/kyofu/index.html

現在、本取り組みの成果の一環として、京都府立総合資料館が所蔵する地誌・案内記のデジタル画像データベース「京都地誌データベース」をインターネット上で公開している。撮影は、立命館大学アート・リサーチセンターの協力のもとで進められ、70点（202冊）、11,138カットの画像を閲覧することができる。

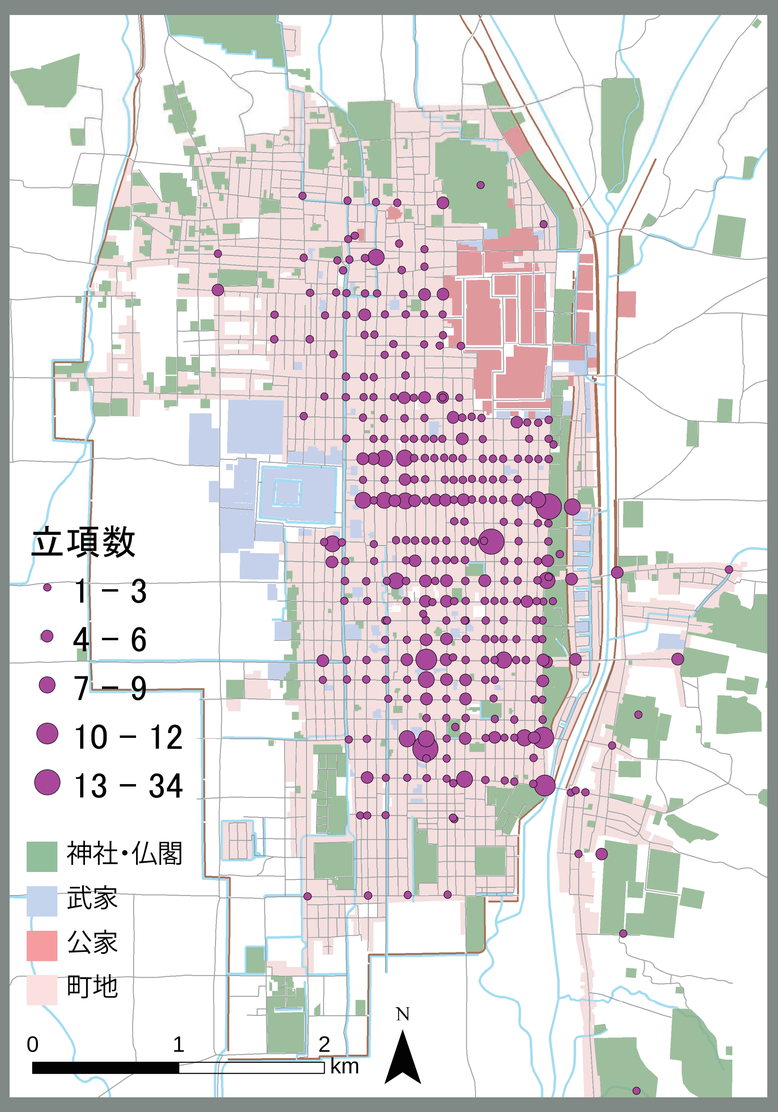
なかでも『京羽二重』には、あらゆる職種の住所が掲載されており、その多くは縦横の通名で記載されている。つまり、交差点レベルで、あらゆる職種を集計し、京都市街域の産業構造を復原することが可能である。一方で、交差点データとテキスト・画像データとのリンクを作成し、地図上の交差点から画像データベースである「京都地誌データベース」を参照することができるようにした。これらの画像データは、立命館大学アート・リサーチセンターのサーバーを利用して閲覧を可能にしている。また、画像データベースに連携するWEB-GISのサイトを立命館大学地理学教室のサーバーとESRI社のArcGIS Onlineを利用して構築した。これにより様々な職種の地図と画像を、インターネットを通して閲覧することように準備を進めている（なお、現在はパスワードを設定して閲覧を制限しており、近日中に公開を計画している）。



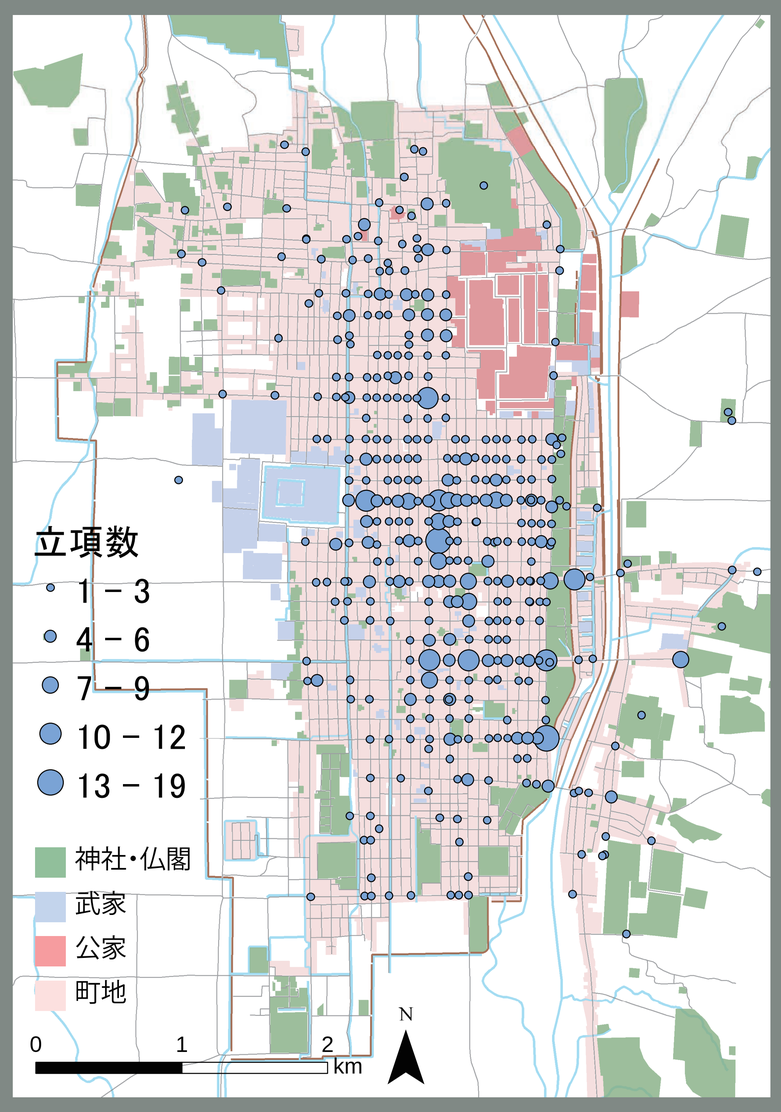
ArcGIS Onlineでの閲覧

3.近世京都における産業の時空的変遷

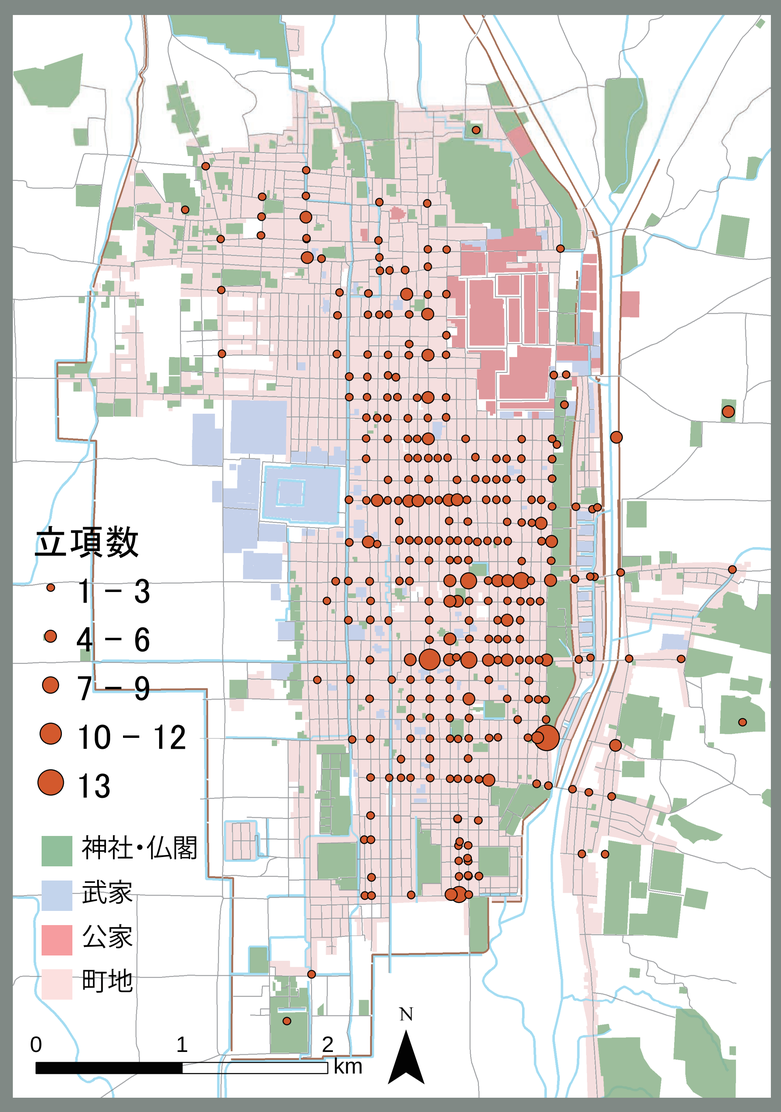
「諸職名匠・諸師諸芸デジタルアトラス」の構築を受けて、地誌・案内記に記載された職人や商人などの住所の立地特性を時空間的に分析し、近世京都の産業構造と都市基盤の変遷過程を解明することが可能になると考えられる。このGISアトラスの構築を通じて、商工業者・知識人の基礎情報の参照と、GISの管理・空間分析機能を統合した、近世期を通した京都のあらゆる産業に関わる人々の分布を包括的に示す地図の作成することができる。これまで包括的な研究が進められてこなかった商工業者・知識人からみた産業都市京都の新たな一面を描き出すことが可能であると思われる。



貞享期に立項された諸師諸芸・諸職名匠
『京羽二重』貞享2（1685）年版　国会図書館所蔵より作成



天明期に立項された諸師諸芸・諸職名匠
『京羽二重大全　天明新増』天明4（1784）年版
京都府立総合資料館所蔵より作成



慶応期に立項された諸師諸芸・諸職名匠
『京洛羽津根　慶応改正』慶応3（1867）年版
京都府立総合資料館所蔵より作成

【注】「京都地誌データベース」で閲覧できる画像は、京都府立総合資料館が所蔵する資料が対象になっているが、「諸職名匠・諸師諸芸デジタルアトラス」では、可能な限りの年代の住所情報をデータベース化するために、他の研究機関が所蔵する資料も適宜追加しながら、地図を作成している。ここでは、立命館大学アート・リサーチセンターや国会図書館の資料を用いた例も示した。